

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今山 武成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,607	59.7	4,437	-	4,620	-	3,948	-
2022年3月期第3四半期	16,656	16.4	△2,524	-	△2,435	-	△3,035	-
(注) 包括利益	2023年3月期第3四半期		4,592百万円 (-%)		2022年3月期第3四半期		△3,941百万円 (-%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	176.29	-
2022年3月期第3四半期	△135.56	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2023年3月期第3四半期	49,168	40,099	81.6	
2022年3月期	45,404	36,626	80.7	
(参考) 自己資本	2023年3月期第3四半期	40,099百万円	2022年3月期	36,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2023年3月期	-	25.00	-		
2023年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	14.8	3,000	-	3,100	-	2,500	-	111.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

・業績予想の修正については、本日（2023年2月3日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	24,395,500株	2022年3月期	24,395,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,000,095株	2022年3月期	2,000,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	22,395,432株	2022年3月期3Q	22,395,455株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たった注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2023年2月3日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナのもとで各種政策の効果もあり、景気は緩やかに持ち直しつつありますが、海外景気の下振れリスクや物価上昇、供給面での制約などに留意することが必要な状況が続いております。

パチンコホール業界におきましては、のめり込み防止や依存症対策および感染防止対策等の取り組みを通じてファンの皆様がより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。その中で、ゲーム性や遊技環境、セキュリティの向上、およびのめり込みや感染防止対策の強化などに寄与するとされる、次世代遊技機「スマート遊技機」が2022年11月より導入されました。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機ではヒットタイトルが複数登場するなどパチンコホール様での稼働も引き続き堅調に推移しております。一方、パチスロ遊技機におきましては6.5号機およびスマート遊技機である「スマートパチスロ」の導入により稼働が回復傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、持続的な成長に向けて市場トレンドの先端を行く機種開発による稼働力向上を最重点課題として取り組むとともに、商品力を備えた新機種の継続的な市場投入を通じてホール設置シェア拡大と販売台数の底上げを図り、企業業績のさらなる向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、国民的時代劇をモチーフにしたパチンコ遊技機を市場投入し、販売は堅調に推移いたしました。また、当社グループのパチンコ遊技機にて人気を博している「とあるシリーズ」のパチスロ遊技機第1弾を市場投入し、当初の計画を上回る販売台数を確保いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高266億7百万円（対前年同期比59.7%増）、営業利益44億37百万円（前年同期は営業損失25億24百万円）、経常利益46億20百万円（前年同期は経常損失24億35百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益39億48百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30億35百万円）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、「P新・遠山の金さん」（2022年10月発売）を市場投入したほか、その他のシリーズ機種などを継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は50千台（対前年同期比9.0%増）、売上高194億25百万円（同24.1%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機につきましては、「SLOTとある科学の超電磁砲（レールガン）」（2022年10月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は17千台（対前年同期比449.9%増）、売上高は71億82百万円（同615.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は347億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億51百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が53億60百万円増加したことに対し、受取手形、売掛金及び契約資産が18億92百万円、未収還付法人税等が3億4百万円減少したことによるものであります。固定資産は143億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が9億78百万円増加したことに対し、長期前払費用が3億34百万円、建物（純額）が1億59百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は491億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億64百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は67億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。固定負債は22億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が2億41百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は90億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は400億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億72百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益39億48百万円および剰余金の配当11億19百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は81.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績および第4四半期における業績見通しなどを勘案し、通期連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,278	24,639
受取手形、売掛金及び契約資産	5,175	3,282
商品及び製品	371	85
原材料及び貯蔵品	3,800	4,395
未収還付法人税等	304	—
前渡金	1,650	2,103
その他	700	433
貸倒引当金	△137	△143
流動資産合計	31,144	34,796
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,895	2,735
土地	3,152	3,152
その他（純額）	1,890	1,451
有形固定資産合計	7,938	7,339
無形固定資産	503	602
投資その他の資産		
投資有価証券	2,635	3,614
長期前払費用	2,347	2,013
繰延税金資産	172	121
その他	1,150	1,172
貸倒引当金	△488	△491
投資その他の資産合計	5,818	6,430
固定資産合計	14,259	14,372
資産合計	45,404	49,168

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,043	3,844
未払法人税等	101	630
賞与引当金	312	155
その他	1,274	2,164
流動負債合計	6,731	6,794
固定負債		
退職給付に係る負債	752	771
繰延税金負債	349	590
その他	944	912
固定負債合計	2,045	2,275
負債合計	8,777	9,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	31,407	34,235
自己株式	△2,324	△2,324
株主資本合計	35,592	38,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	980	1,664
退職給付に係る調整累計額	52	13
その他の包括利益累計額合計	1,033	1,678
純資産合計	36,626	40,099
負債純資産合計	45,404	49,168

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
売上高	16,656	26,607
売上原価	8,780	12,331
売上総利益	7,875	14,276
販売費及び一般管理費	10,400	9,838
営業利益又は営業損失（△）	△2,524	4,437
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	59	46
利用分量配当金	1	4
違約金収入	—	100
その他	36	48
営業外収益合計	99	200
営業外費用		
賃貸収入原価	3	3
貸倒引当金繰入額	—	8
シンジケートローン手数料	6	6
その他	0	0
営業外費用合計	10	17
経常利益又は経常損失（△）	△2,435	4,620
特別利益		
固定資産売却益	5	9
投資有価証券売却益	139	—
特別利益合計	145	9
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△2,291	4,628
法人税、住民税及び事業税	24	682
法人税等調整額	719	△1
法人税等合計	744	680
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△3,035	3,948
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△3,035	3,948

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△3,035	3,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△799	684
退職給付に係る調整額	△106	△39
その他の包括利益合計	△905	644
四半期包括利益	△3,941	4,592
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,941	4,592

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理および開示に関する取扱いの適用）

当社および連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税ならびに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。